

おはようございます。私はイムイエウンと申します。

私が皆さんに伝えたいことについて、発表させていただきます。

皆さんは、慣れてしまうことの恐ろしさを知っていますか？

慣れてしまうことの恐ろしさ？それが何？と思うかもしれません。

私は、皆さんに慣れてしまうことの恐ろしさについて話したいと思います。

毎日ご飯を食べられること、欲しい服を買って着られること。このように、私たちの人生にとって、非常に大切なことですが、慣れてしまって、忘れていくことがたくさんあると思います。

私も、この間までは、慣れてしまうことの恐ろしさをよく知りませんでした。

日本に留学に来て、私に慣れしたしんだものがなくなり、さとりようになりました。

まず、私は、韓国にいる時、母が作ってくれたご飯を毎日のように食べながらも、感謝の気持ちを忘れていました。母が作ってくれたご飯に慣れすぎてしまって、それを当たり前に思ってたのです。

ところが、今は、忙しくて、一人ではきちんと食べることが難しい朝に、母が用意してくれる朝ご飯。また、一日を終えて、疲れて家に帰った時、用意されていた晩ご飯、こう言った当たりの日常が、本当に大切だったということが、分かるようになりました。

また、私には、3歳年上の姉がいます。私たちは、よく喧嘩しますが、友達が羨ましくなるぐらい、仲が良い時も多いです。

それなのに、私は、姉が私のそばにいることに、慣れすぎてしまって、いつも「ありがとう」や「ごめんね」などの気持ちを、まともに伝えることができなかったのです。

そこで、私は皆さんにもう一度伝えたいです。

皆さん、慣れてしまうことの恐ろしさに、気付いていますか。

今、慣れてしまって忘れていくこと、忘れてはならないことがありますか。

以上で、発表終わります。ご清聴ありがとうございました。